



敬友会ニュース

～『Honda歩行アシスト』体験会～

平成30年2月8日 敬友会 研修センターにて

本田技研工業株式会社様にご協力いただき、『Honda歩行アシスト』の体験会を敬友会 研修センターにて実施していただきました。

『Honda歩行アシスト』は製品名の通り装着者の歩行動作を支援するものであり、強制的に歩行動作を実施させるものではありません。

この製品コンセプトは以下の敬友会の理念にも通じており、体験会の開催へと繋がりました。

『今持てる力を最大限活用し、出来る事が増えていくようにあらゆる方向から働きかけ、生きる力を持つ事を支援いたします。』 敬友会理念 抜粋



リハビリの担当をはじめ総勢30名以上で体験会に参加しました。

まずは製品のご説明をしていただきました。

「倒立振り子モデル」に基づく効率的な歩行をサポートする歩行訓練機器であり、屈曲ならびに伸展のサポートを訓練の目的に応じて3つのモードが準備されており、サポートの強度などもタブレット端末にて簡単に設定できるようです。

Honda 歩行アシスト

アシストのメインの腰フレーム



アシストは腰フレーム、モーター・大腿フレームの3つで構成されており、装着者に簡単に着脱が可能です。実際に体験を行うなかで数回実施した職員は、装着には1分も掛らず、着脱は数秒ほどしか掛りませんでした。

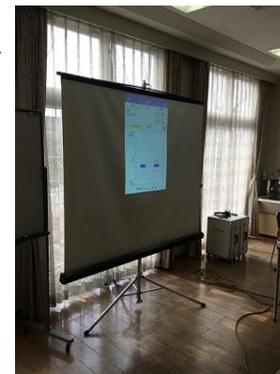
日々のリハビリを意識すると着脱が簡単であることは非常に使い勝手が良いと感じました

実際に歩行アシストを着けて体験会



体験会では職員が歩行アシストを装着して、「追従モード」を体験。装着者の歩行パターンに合わせて歩行動作を誘導してくれます。はじめは恐る恐る歩いていましたが、歩くたびにアシスト動作が実感するにつれて、サポートの強度を調整したり左右のバランスを変更するなど、実際のリハビリを想定して色々な意見が飛び交っていました。

写真が見難いですが、歩行動作がリアルタイムでコントローラに表示されるので、リハビリを簡単に定量的に評価可能です。



『本田技研工業さま、貴重な体験会ありがとうございました』